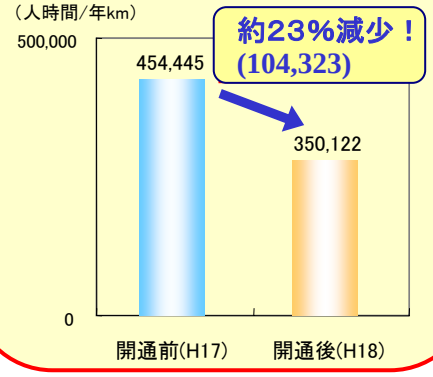
資料　2

２．渋滞損失時間の減少によるCO2排出量の減少

〇琴丘能代道路(能代南I.C～能代東I.C間)の開通後、国道7号の走行性向上により、年間約15,800tのCO2（二酸化炭素）の排出を削減することができます。これは、秋田杉約１１０万本が一年間にCO2を吸収する量に相当します。
〇並行する国道7号（能代市街）における渋滞損失時間は、開通前に比べ、約23%減少〔約45万人時間/年→約35万人時間/年(約1万人時間/年)〕しました。なお、渋滞損失時間の削減により、年間で約2億円の経済効果と試算されます。

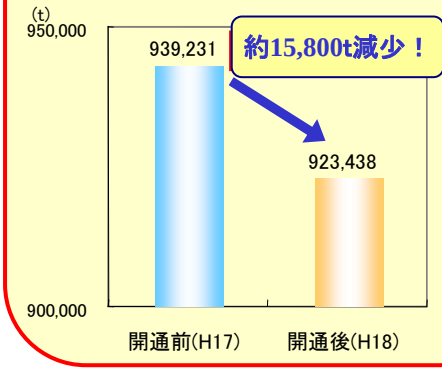
■ 円滑なモビリティの確保

琴丘能代道路（能代南IC～能代東IC）並行現道区間の渋滞損失時間



CO2排出量に換算すると・・・

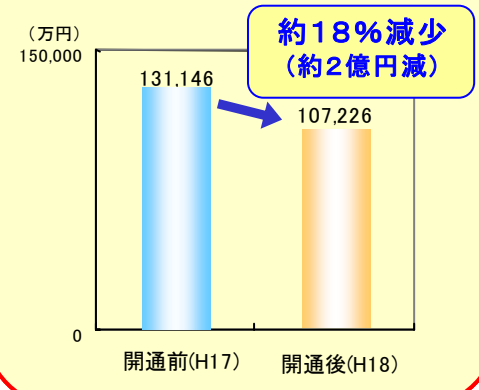
渋滞損失時間（CO2排出量換算値）

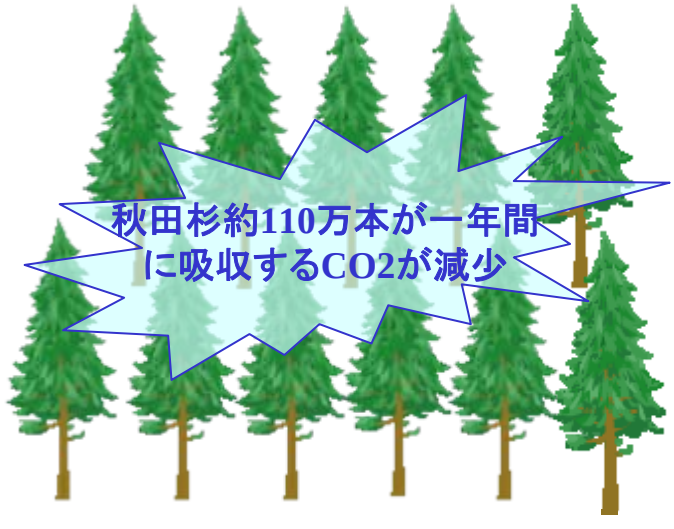


開通前(H17)：H17旅行速度調査(H17.10)結果より算出
開通後(H18)：H18旅行速度調査(H18.10)結果より算出

渋滞損失額に換算すると・・・

渋滞損失時間（渋滞損失額換算）





年間約2億円の経済効果！

能代市森林面積の約29%に相当！

・能代市の森林面積 :24,863ha
・秋田杉約110万本の面積: 7,237ha

※1.スギの木1 本の1 日あたりのCO2 吸収量=0.0384kg/ 本・日:【環境省／林野庁より】
※2. 森林面積:【平成17年度秋田県林業統計（秋田県農林水産部）より】